

支援プログラム

作成日 2025年 3月 30日

事業所名 特定非営利活動法人アントワープカウンセリングオフィスじょいふる

法人（事業所）理念		子ども、保護者が抱える様々な問題に対して、問題の改善、解決の方向に支援する。心身ともに健康を取り戻し、充実した生活が送れるよう専門家が支援する。		
支援方針		児童の特性をアセスメントし、個々の課題に取り組んでいく。放課後教室、SSTクラスの集団活動に参加することで、社会性を育み、構造化された環境で適応した生活を送ることを目指す。		
営業時間		月曜日～金曜日： 10：30-18：30（長期休み：9：00-18：00） 土曜日：10：00-19：00	送迎の有無	放課後教室：有り 個別支援・SST：無し
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	来所時に検温、手洗いとうがい、消毒を習慣していけるように声かけを行う。		
	運動・感覚	放課後教室やSSTクラスでは運動プログラム、製作活動を通して楽しく粗大運動や微細運動の支援を行う。個別支援では認知作業トレーニングや微細課題など集中しやすい環境で身体の使い方や力のコントロールの支援を行う。		
	認知・行動	認知機能強化トレーニング（コグトレ）のプリントを活用して認知機能の向上を図る支援を行う。場面絵カードなどを用いた状況判断や状況理解の練習、適切な行動について学んでいく機会を設定する。		
	言語 コミュニケーション	放課後教室やSSTクラスでは集団活動を通して他児との適切なコミュニケーションの取り方について沢山の経験を積みながら学んでいける環境を設定する。個別支援では集団場面で課題となっている言語表現やコミュニケーションの取り方について振り返る。		
	人間関係 社会性	放課後教室やSSTクラスでは集団活動を通して「人との距離感」「他者の尊重」「報連相」など社会で生きていく中で必要となる社会性について経験やワークを通して学んでいく。個別支援では支援員と落ち着いた空間で必要な社会性のスキルについて学び、ロールプレイなどで練習をしていき実際の場面で活用していけるように支援する。		
家族支援		家族の困りごとや不安に思うことなどを聴き、児童の支援に向けて、より良い方向性を見出せるように支援する。放課後教室では家族や学校の都合に合わせて延長支援を行い、サポートする。	移行支援	保護者からの相談に応じて学校や他事業所との連携を図り、課題解決に向けて取り組みを行う。
地域支援・地域連携		家族を通じて学校の様子を伺い、より良い支援方法を家庭・学校・関係機関と連携を行う。	職員の質の向上	定期的に事例検討会、勉強会を法人全体で実施していく。また、外部研修にも積極的に参加する。
主な行事等		芋ほり体験、親子でキッチン、さつまいも掘り体験、秋祭り など		